

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和5年度 第2回「健笑庵のぎ」運営推進会議

対象事業所名：(有) ケアサポートことばき「健笑庵のぎ」

サービス種類：地域密着型通所介護事業所

開催日：令和6年1月26日(金) 14時30分

開催場所：会議室

出席者：7名

《内訳》

事業所(担当者)	3名	利用者	1名
利用者家族(欠席：意見のみ)	1名	知見を有する者	1名
松江市職員	1名	地域代表者	1名

【議事・議題】

1. ご利用状況(令和5年12月現在)

登録者数 (設置基準別) 44名	総合事業通所サービスA(緩和型) 9名(男性：1名、女性：8名)					
	総合事業通所サービス(従前型) 6名(男性：1名、女性：5名)					
	地域密着型通所介護 29名(男性：7名、女性：22名)					
介護度別利用者数	事業該当：3名	要支援1：5名(内、緩和型2名)	要支援2：7名(内、緩和型4名)			
	要介護1：19名	要介護2：9名	要介護3：0名	要介護4：0名	要介護5：1名	
利用回数状況	週1回：18名	週2回：15名	週3回：5名	週4回：4名	週5回：1名	週6回：1名
各月総利用数	7月：352名	8月：361名	9月：369名	10月：383名	11月：374名	12月：334名

2. 活動報告(令和5年7月～12月)

1) レクリエーション活動

7月	・笹巻づくり ・曜日対抗ゲーム[玉入れ] ・誕生会
8月	・クイズ大会 ・曜日対抗ゲーム[ビリヤード] ・曜日対抗ゲーム祝勝会 ・誕生会
9月	・敬老週間[ピンゴ大会] ・米寿、白寿のお祝い ・テーブル野球 ・誕生会
10月	・曜日対抗ゲーム[七福神救出ゲーム] ・誕生会
11月	・玉転がし ・テーブルボウリング ・曜日対抗ゲーム[ゴルフ] ・誕生会
12月	・クリスマス会 ・曜日対抗ゲーム[クリスマス玉入れ] ・誕生会

2) 日曜デイサービス(月1回、日曜日開催)

開催月	活動内容	参加人数
7月	かんべの里見学 1班	12名
	かんべの里見学 2班	14名
8月	納涼会 1班	13名
9月	納涼会 2班	12名
10月	紙漉き体験 1班	13名
11月	紙漉き体験 2班	11名
12月	望年会 1班	14名
	望年会 2班	13名

3) 防災訓練及び活動

実施日	訓練および活動の内容	参加者数(職員)
7月	地震災害について/山陰での地震の様子	12名(4名)
8月	火災について/火事が起こったときの初期行動	15名(5名)
9月	地震災害について/地震が起こったときの初期行動	12名(3名)
10月	火災について/自宅の消火設備の確認と消火器の使用方法	14名(5名)
11月	地震災害について/地震に対する備え	15名(5名)
12月	火災について/デイルームで火災発生を想定して	11名(5名)

4) その他の活動

- ・畑、花壇作り（年中行事）
- ・歌唱活動、脳トレドリル、塗り絵、パズル、五目並べ（毎日）

3. 相談および苦情受付状況・事故発生報告（対象期間：令和5年7月～12月）

1) 相談・苦情事例

〈苦情事例〉 ○日曜デイサービスに参加する予定なのに迎えが来ない

〔状況〕

令和5年12月。週1回ご利用されている利用者 K 氏の娘様より入電。「日曜デイサービス（望年会）に行くつもりで迎えを待っているのに来ないがどうなっているのか」との内容。12月の日曜デイサービスはこの日と翌週の2回に分けて開催することになっており K 氏は翌週の参加を予定していた。

〔対応〕

会場を借りていた事もあり人数変更が可能か確認する為、改めて連絡する旨をお伝えし通話を一旦終了した。参加して頂けるよう調整・準備し電話をかけたが、ご立腹されて切電。かけ直すも受電して頂けなかった。これまで望年会における連絡など、K 氏への対応を各職員に確認。参加希望を受け取ってからこの日まで6週間ほどデイサービスを休まれており、通常来所時にお伝えする予定の参加日や送迎時間などの通知が出来ていなかった事が判明。当日夕方謝罪するため訪問し話をしたが、その際利用を中止したいとの意向を示された。翌日担当ケアマネジャーに経緯を報告。K 氏、娘様と話をした結果、今まで通りデイサービスを利用したいとの希望があるとの報告を受けた為、引き続きデイサービス利用をされる事となった。

2) 事件事例 ※新型コロナウイルス感染関連も含む

*この期間での受付はありません。

3) ヒヤリハット対象事例

*この期間での該当はありません。

4. 研修会および勉強会

1) 外部研修

- ・令和5年度福祉サービス苦情解決研修会：令和5年10月〔参加人数：1名〕
- ・島根県高齢者虐待防止研修会：令和5年12月「オンライン参加」

2) 内部研修

実施日	研修会・勉強会内容	参加者
令和5年7月1日	ケース検討	4名
令和5年8月28日	事例を通して急変時の対応	5名
令和5年9月16日	ケース検討	5名
令和5年10月2日	認定調査から利用者の状態を把握すること	4名
令和5年11月11日	ケース検討	5名

3) 集団指導

- ・令和5年度松江市介護サービス事業所集団指導：令和5年7月〔オンライン参加〕

5. ボランティア、福祉体験等受け入れ状況

- ・演芸ボランティア（大庭踊りクラブ5名様）：12月日曜デイ（2回）

6. 業務継続計画（BCP）の策定に関わって

介護サービスは要介護者や要支援者、そしてその家族の生活を支えるうえで欠かせないものです。そのことから新型コロナウイルス感染症等の感染拡大にともなう緊急事態制限下や自然災害発生時においても継続的なサービス提供が求められています。それらを踏まえ、介護サービスの業務継続のため、平時から準備や検討していく体制が求められています。

1) 策定内容

①感染症に係る業務継続計画

- 平時からの備え：体制の整備、感染防止に向けた取組、消毒液や防護用品の確保など
- 初動対応：感染確認からの対応手順など
- 感染拡大防止体制の確立：保健所との連携、濃厚接触者への対応、関係所との情報共有など

②災害に係る業務継続計画

- a 平常時の対応：建物や設備の安全対策、必要品の備蓄など
- b 緊急時の対応：対応体制など
- c 家族、地域及び関係機関との連携：避難や救助支援の連携体制など

③研修について

- ・年1回実施：毎年4月（法人全体）

④訓練について

- ・年1回実施：毎年4月（法人全体）

2) 『健笑庵のぎ』における、策定上での課題及び問題点

- ①家族や地域、関係機関との十分な連絡及び連携体制が必要である。
- ②行政等による介護サービスのセンター的機能が必要である。

7. （参考：再掲）地域密着型通所介護事業所『健笑庵』の「在宅支援」の継続的な取り組みについて

*新型コロナウイルス感染症の取り扱いが変更になり、少しずつ以前の様な地域での交流が戻りつつあります。このタイミングにおいて、あらためて高齢者の皆様の地域での暮らしにおいてデイサービスの有効性について再認識いただければと前回に引き続き再掲させていただきました。

平成12年（2000年）4月、介護保険の施行に伴い、「施設」から「在宅」へと機運も高まり、医療の延長線上のケアだけではなく、地域で暮らすためのケアとして、翌、平成13年（2001年）に少人数制の通所介護事業所『健笑庵』を開業いたしました。それ以来、多くの皆様とご縁をいただき今日に至っております。その間、皆様から多くの学びと気づきを頂戴いたしました。この経験が、現在の『健笑庵』の基本理念である「在宅支援」の糧であり、根拠となっております。

1) 通所介護の役割と可能性

一般的に通所介護の基本方針は、「利用者が可能な限りそれぞれの居宅でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように機能の維持、向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るもの」とされています。『健笑庵』では、このことを踏まえ、これ以前の段階として、本人の生活意欲へのアプローチと考えています。通所介護はサービスの特性から一定の週内リズムで七時間程度の時間を本人と直接、向き合うことができます。健全な暮らしのリズムを構築し、そこでの必要な交流や支援が可能になることで参加への自主性にアプローチできると考えています。また、「送迎」という特性を生かし、ご家族様との連携や必要に応じてはご自宅近隣の皆様との連携の機会もつながらと考えています。

2) 通所介護の利用のタイミング

『健笑庵』では通所介護サービスの利用を検討するタイミングは次のように考えています。

- ①他者と交流したい。
- ②配偶者死亡等による、世帯構成の変化
- ③同居家族の介護負担の軽減策として
- ④食事摂取の状況の変化など体調変化のタイミング

3) 「個別支援」のための状況把握の取り組み。

「個別支援」の基本的な視点として、高齢者介護の問題は、本人や家族の努力で未然に防げるものではないということ、本人や家族の責任追及という視点ではないということです。本人を取り巻く社会的環境を十分に把握し、そこには様々な要因が重なってその問題を複雑にしています。本人や家族、当事者だからこそ分かりにくい状況もあります。そこで私たちの役割は、その個人の現状を丁寧に理解していくことにあります。

8. 報告に対する質問意見および要望

〈意見・要望〉

○活動報告に関わって

- ・楽しいです。外出したくても自分では出掛けられないので、このデイサービスに出かけることはよいことだと思っています。[利用者]
- ・食事が美味しいです。[利用者]
- ・自分の一人暮らしの父親が認知症。デイサービスに行くようになったが定着できなかった。家族としては出掛けたいと思うが、本人に勧めているが、このまま本人の好きな様にしてほしいのかなど色々悩んでいます。[地域代表]
- ・「日曜デイサービス」は参加者が多いことから人気のある活動だと感じました。[知見有識者]
- ・令和3年度の介護保険改定による一部の項目については、今年度末で経過措置が終了となることから事前の確認

をお願いしたい。また来年度の改定についても今後、集団指導を開催予定です。[松江市介護保険課]

- 本人がデイサービスを楽しみにしている。これからも健康に留意し通って欲しい。今後も体調の変化など、必要に応じ相談させて欲しい。[利用者家族]

〈質疑応答〉

- Q：通所リハは非常に厳しい状況です。短時間利用を増やす方向で考えている。利用者や家族は、一日利用が出来て、レクリエーションや入浴も出来るデイサービスの方の需要が多いのではないだろうか。[知見有識者]
A：介護保険制度が始まって20年以上経過しました。高齢者介護が広く認知されてきました。それとともに、サービスの多様性や介護に対する考え方にも変化が起きている様にも思います。その時々、時代の変化に応じた様々なニーズがあり、それぞれに応える事が重要になってきていると感じています。
- Q：毎月の利用者が多いと感じます。現在の空き状況を教えてください。[知見有識者]
A：空き席はあります。毎月、空き席の状況を各居宅にお知らせをしています。
- Q：昼食の提供状況について教えてください。[地域代表]
A：昼食の副食を外注しています。現在は2か所の事業所に曜日毎に発注しています。米飯、みそ汁は当方で自炊するように取り組んでいます。食事にかかる費用は10時、15時のお茶菓子分も含め現在700円をご負担いただいておりますが、これは、この12月に690円から値上げをお願いさせていただきました。
- Q：食材費が値上げした理由についてお尋ねします。[地域代表]
A：皆様より徴収させていただく食材費は、昼食と午前午後のお茶菓子代に充てさせていただいております。一昨年より、お米、野菜等またお茶菓子の価格が徐々に高騰してきました。そのことから徐々に影響を受けておりましたが、今年度に入り昼食の副食の仕入れ値の値上げが相次いだことから、食材費の値上げをお願い致しました。
- Q：利用者の方の送迎先についてお尋ねします。[地域代表]
A：基本的には松江市内の橋南地区となります。現在は東側では東光台、南側は玉湯町大谷より お出かけいただいております。
- Q：スタッフの人数は？ [地域代表]
A：専従のスタッフが9名。一日あたり、相談員、看護員、介護員等専門の違いがありますが、全員で5名から6名を配置しています。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○